

板取川 長瀬橋 付近

16年間で1人の方が水難事故で亡くなっています。

長瀬橋付近では、16年間で10件の水難事故が発生し、1人の方が亡くなっています
(平成20年度～令和5年度)。

亡くなった方の年齢は、右表のとおりです。

年齢	死亡者数
20～29歳	1

絶対に、橋から飛び込まないでください。

【現地の状況】

- ・橋付近の川幅は約70m、水深は深いところで3.5m以上です。ただし、堆積により橋脚付近を含め、川底がかなり浅くなっているところもあります。
- ・橋の下流には護床ブロックや魚道などの構造物が設置されています。
- ・橋脚や護床ブロックなどの構造物の近くでは、複雑な流れが発生しています。
- ・上流の降雨により水位が急激に上昇することがあります。

【注意事項】

- **川底が浅くなっていますので、絶対に、橋から飛び込まないでください。**
- **絶対に、泳いで川を渡ろうとしないでください。**
- **橋脚や護床ブロックなどの構造物の近くでは遊ばないでください。**
- **体力や経験を過信せず、水位が上昇してきたら、迷わず速やかに川から出てください。**

<水位上昇のサイン>

- ・水が濁ってきた。
- ・落ち葉や流木、ゴミが流れてきた。

- **お酒を飲んだら川に入らないでください。飲んでいなくても、川の状態によく注意し、無理のない行動をしてください。**





橋脚周り以外は砂利が堆積して浅くなっているので、絶対に橋から飛び込まないでください。



橋脚の周辺が深くえぐれているため、下に引き込む流れが発生するので、橋脚の近くでは遊ばないでください。



橋から下を見た様子。昔は、地元の子どもが度胸試しに飛び込むこともありましたが、現状では非常に危険ですので絶対に飛び込まないでください。



深みにはまったり、急な流れに巻き込まれて溺れる恐れがありますので、絶対に川を泳いで渡らないでください。



川で楽しんだ後は、ゴミを持ち帰りましょう！



下流には落差があり、取水口、魚道、護床ブロックなどの構造物が設置されています。構造物の近くでは複雑な流れが発生しますので絶対に近づかないでください。



護床ブロック



魚道

